



私と

金魚

金魚愛を深めるべく
生まれから
金魚すくい
私の住む江戸川区
まで辿る…

目次

はじめに	…1 ページ
《第1章》金魚はどこからやってきた？	…2～8ページ
① 金魚はどこで生まれたの？	…2 ページ
② 金魚はいつ日本へやってきた？	…4 ページ
③ 庶民に広まったのはいつ？	…5 ページ
④ まとめ・感想	…8 ページ
《第2章》金魚すくいの秘密を探る。	…9～20 ページ
① 金魚すくいはいつから？	…9ページ
② ポイの秘密・雑学	…11 ページ
③ 定番の「和金」とは (1)	…13 ページ
④ // (2)	…14 ページ
⑤ すくわれ金魚の運命	…15 ページ
⑥ すくった金魚も長生きできる！	…19 ページ
⑦ まとめ・感想	…20 ページ
《第3章》江戸川区が金魚で有名なのはなぜ？	…21～28 ページ
① 家周辺の金魚	…21 ページ
② いつから有名に？	…22 ページ
③ 養魚場の歴史を探る	…23 ページ
④ 江戸川区生まれの金魚とは？	…24 ページ
⑤ 金魚まつりについて	…25 ページ
⑥ 江戸川区の金魚まつりです！	…26 ページ
⑦ まとめ・感想	…28 ページ
全体を通して	…29 ページ



はじめに



今年も夏が来た！

夏といえば、どんなことを思い浮かべるだろうか。

夏祭り、花火、アイスクリーム、海…

私は夏祭りを思い浮かべる。夏祭りではたくさんの屋台があって、太鼓の音が鳴り響き、とても華やかだ。その中で、金魚すくいは必ず私の頭の中をよぎる。

私は金魚がとても好きだ。一年前から、養魚場で出会った2匹の金魚「りんご(写真①)・みかん(写真②)」と過ごしている。(写真③)こう名付けたのは、色が似ていたからだ。だが、一年たった今は色が薄くなり、りんごはオレンジっぽくなっている。(写真④)

しかし、この2匹と出会う前に2匹の金魚すくいで出会った子と、同じ養魚場で出会った和金2匹と1週間程過ごした後、亡くしてしまっていた。今振り返れば、金魚を飼いたい思いで、金魚の病気、飼い方についてあまり詳しくなかったからだと思う。

「金魚たちには苦しい思いをさせたくない！」そう思い、一年たった今、なぜ金魚すくいが始まったのか、そして私の金魚愛を深めるべく、金魚の歴史も探っていきたい。

また、私の住む江戸川区は金魚が有名であり、毎年金魚まつりが開催される。なぜ金魚が有名なのか。生まれてから江戸川区にずっと住んでいるのだから詳しくなりたい！

金魚すくいから始まった私の金魚愛

もっと金魚について知って深めるぞ！



写真①1年前のりんご



写真②1年前のみかん



写真③1年前2匹壺に入れた。写真④7/24 餌を欲しがる様子。
(左りんご、右みかん)



(上みかん、下りんご)



～第1章～

金魚はどこから
やってきた？

1 章 ①金魚はどこで生まれたの？

まず、金魚はそもそもどこからきたのだろうか。和金、琉金などと漢字で書くのだから日本生まれなのではないか。金魚がどこからきたのか、そしてどのように種類が増えていったのか調べてみよう。

【金魚は中国で生まれた】

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013 年 7 月 24 日(p.58)

元々は中国から来たものだった。およそ 1700 年前の西暦 3～4 世紀頃、長江のほとりで 1 尾の赤いフナが見つかった。この赤いフナが金魚のご先祖様に当たる。

★フナ…全体的な外見はコイに似るが、口元にヒゲがない。コイに比べて頭が大きく、体高も高い。

Honda Honda 倶楽部 フナの特徴 (更新)2024 年 4 月 1 日
<https://www.honda.co.jp/fishing/picture-book/funa/#>



その後、900 年頃の中国の北宋時代(日本だと平安時代)に、宮廷や寺院などで赤いフナが飼育されるようになった。代々受け継がれてきた赤いフナの子孫が進化を遂げる。

熱心に飼育をする皇帝も現れ、南北宋時代には飼育や販売を生業とする者もいたそうだ。

→2 またに分かれた尾ビレを作る研究をする。 ★中国では金魚をチンユイと発音する。

→華やかな姿へと変化していった。 人々はこれを「チンユイ」と名付けた。

16 世紀中頃の明の時代になると金魚の飼育は盛んになり、多くの新品種が出現するようになった。だが、これらの多くが日本に入ったのは昭和時代。

色、体型の改良も盛んに行われ、珍しい体型をした金魚がたくさん作られ、重宝させる傾向にあった。

19 世紀の後半になると、金魚飼育は一層広まり、飼育の方法を記した手引き書なる物が発行された。

→書物にする

→金魚の品種の選別がされる

→環境に適応した金魚は子孫を残し、新種として定着しないものは次第に無くなっていったそう。

「頂点眼」「水泡眼」「獅子頭」などはこの時代に作られた。(水泡眼 my お気に入り金魚！)



↑小学館の図鑑 NEO POCKET 金魚(年)2023 年 4 月 3 日 左から(p.148 p.142 p.82)

現在でも、中国では遺伝子的に固定されていなくても日本の 31 種に比べて何千種類の種類がいる。しかし、固定されているわけではないため、一年で姿を消すものもある。一方日本では、1 つの種類は少なくとも、10 年単位で安定的に作り出すことができようやく品種となるため、品種数は少ない。(資料①)

～ここまで(自分の考え)～

金魚はフナの子孫に当たり、中国で生まれた。貴族の間で楽しまれ、品種改良も行うようになった。

1 匹から始まった金魚たちの歴史にとっても感動した。そんな中国で生まれた金魚たちが日本にやってきたのはいつだろうか？



↑資料①金魚と日本人(著)鈴木克美(社)講談社(年)
2019 年 8 月 8 日(p.30 p.31)

1 章 ②金魚はいつ日本へやってきた？

金魚が日本という印象が強いので、国風文化が栄えた平安時代なのではないか。だが、たくさんの金魚が生まれたのは平安時代ごろ。それに、「国風文化」が発展したのは貿易をたったからだ。なら、平安時代後の鎌倉、室町あたりではないか。確か貿易が再び発展したのはこの辺りの時代だったはずだ。

【金魚は室町時代にやってきた】

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013 年 7 月 24 日(p.60))

日本には約 500 年前に伝来！1748 年に発行された日本初の金魚の飼育手引書「金魚養玩草(きんぎょそだてぐさ)」(資料②)によると、1502 年、室町時代、現在の大阪堺市に入ってきたとされている。当時の日本は室町時代で中国との交通が盛んだった時代。だが、戦乱の世でもあり、一般庶民の手の届くようなものではなかった。物珍しく、高価なゆえに、一部の富裕層や貴族だけの間で話題となり、育てられていた。

→戦乱の最中だけに、金魚の癒しや心の拠り所を求めていたのではないか。(著者)

→確かに、室町時代は応仁の乱などの戦乱があったと授業で学習した。戦うのも身分の高い人なので、(著者:吉田智子さん)の考えの通りだと思う。

【上見で楽しまれていた】

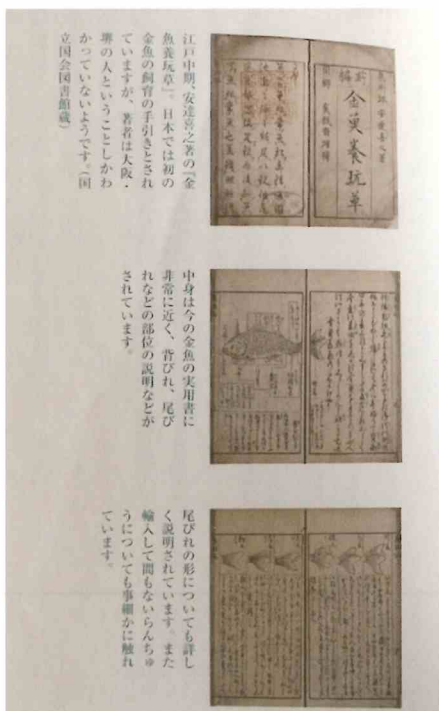
((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)

2013 年 7 月 24 日(p.12、p.72))

今では、魚を買うとしたら水槽が一般的。だが、この頃金魚は横からではなく、上から見る「上見(うわみ)」が普通だった。金魚といえば…あのイメージするような「ガラスの金魚鉢」は昭和に入ってからだそう。

～ここまで(自分の考え)～

「金魚養玩草」より、室町時代、現在の大阪堺市に金魚は入ってきた。だがこの頃は庶民の手には届かなかった。いつごろ庶民にも金魚が広まったのだろうか。



↑資料②金魚のはなし

(著)吉田智子(社)洋泉社

(年)2013 年 7 月 24 日(p.61)

1 章 ③庶民に広まったのはいつ？

室町時代後はしばらく戦乱が続いていたので江戸時代頃だと思う。個人的だが、江戸時代が1番日本の「和」に当てはまるような感じもして、金魚がぴったりだと考えるから。

【江戸時代が金魚ブームだった ①江戸初期】

「②金魚はいつ日本へやってきた？」より、室町時代に伝来した金魚は身分の高い人でしか話題になっておらず、広まることはなかった。

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013 年 7 月 24 日(p.62))

戦乱の世が終わり、江戸時代に入ると人々の生活は落ち着きを取り戻す。

この頃、「こがねうお」「きんぎょ」と呼ばれていた。

↑呼ばれ方についての資料は少なく、室町時代末期に発行された「天草羅葡日対訳辞書」では「こがねうお」その8年後に出版された「長崎羅葡日対訳辞書」では「金魚」とあったそう
だ。

当時、豪商である淀屋辰五郎が天井に取り付けられた外国製のガラスで作った水槽の中に金魚を入れて下から眺めることによって暑気払いをしていたと伝えられる。

★淀屋辰五郎…江戸時代中期の大阪の豪商。町人の分限を超えた贅沢のため、所払いの刑を受けたという。魚、塩、青物などを扱っていた。

コトバンク kotobank 淀屋辰五郎(更新)2024 年 6 月 17 日 <https://kotobank.jp/word/淀屋辰五郎->

(自分の考え)

暑気払いをしていた→つまり、暑い時期。この頃からも、金魚は涼みになっていたのではない
か。ガラスに入れて吊るすのは、釣り忍にも似ているので江戸時代の文化が開花していつい
るようだ。

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013 年 7 月 24 日(p.63))

江戸時代初期、金魚は観賞用はもちろんのこと、当時のお殿様の毒見用に納めていた。
→初めて食べるものは、金魚に試食させていた。そのため、お屋敷には金魚は必需品。

(自分の考え)

金魚に人の食べ物を食べさせる！？私の2匹にも小松菜やブロッコリーは与えたことがあるが(写真⑤)水質も悪化しそうで、まず金魚にとって毒だったらお殿様は何も食べられないのでは。

金魚は金魚用の餌でなくても、水草(特にマツモ)など、葉の物系の野菜は食べられる。写真⑤は小松菜を食べている様子。茹でてふやかしたものを与える。残った分は水質悪化を防ぐために早めに取り出す。

写真⑤小松菜を食べている様子。1 年前→



【江戸時代が金魚ブームだった ①江戸中期以降】

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013 年 7 月 24 日(p.63))

藩士の副業などとして、金魚養殖を藩を挙げて進めることも出てきた。金魚養殖はどんどん盛んになっていった。

→大量生産されるにつれて、金魚の価格も下がり、富裕層から少しずつ庶民へと広がっていった。1748 年に金魚の飼育の手引書「金魚養玩草」が発行され、その一説に「金魚売り」「金魚すくい」という仕事や遊びが成立したそう。

★藩士…大名に仕えている侍。

例解学習国語辞典第九版ドラえもん版(編)金田一京助
(社)小学館(年)2012 年 11 月 3 日(p.932)

(自分の考え)

ここで分かった！金魚すくいは江戸時代の中期以降に生まれた。でも、こういった形なのだろうか。今のようなポイはいつ頃から使われるようになったのだろうか。ポイに貼られている和紙もこの時代では高価なものだったと思う。時系列順に調べ、金魚すくいの歴史を再度追っていくことにする。(2 章)その前に、金魚売りとはなんだろうか。

【金魚売が町を歩いていた】

((参考文献:金魚のはなし(著)鈴木克美(社)講談社(年)2019 年 8 月 8 日(p.172))

「金魚売り」には「錦魚売り」と字を当てることもある。江戸では、庶民が買い求められるような安価な金魚は、町中を売り歩く「振り売り」という形で普及していった。遠くから、のどかな呼び声をたて、近くではバシャバシャ浅い水桶をゆすって水音をたててくる金魚売りには、涼しげな季節感がこもっていたのだろう。(資料③)

(自分の考え)

→つまり、今でいうアクアリウムショップというものではなく、店側が売りにきていた

→それは売れるわけだ！

水の音などから涼しいと感じてきたからこそ、金魚は夏のイメージが強くなっていった。



←資料③金魚と日本人

(著)鈴木克美(社)講談社

(年)2019 年 8 月 8 日(p.173)

金魚売りの様子。

写真⑥→

今年の冬

長いフンをしていた。



(自分の考え)資料より、金魚はただ桶に入られている上、文章中より「水桶をゆすって」などとあるが、それでも売り物になる程なので昔の金魚は強いのかもしれない。私の 2 匹が弱いのかもしれないが。(暑い、寒いとすぐ消化不良などを起こす。写真⑥)

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013 年 7 月 24 日(p.88))

そんな金魚売りは、昭和 30 年代後半まで町を歩いていた。金魚を戦争から必死に守り抜いた。昭和 30 年代になると高度経済成長がはじまる。1950 年に始まった朝鮮戦争中に、アメリカ軍へ物資の支援などを行ったことで日本経済が急激に潤うことにより、朝鮮特需となった。これにより、日本経済は急激に元気を取り戻し、戦前の最高水準を上回るまでに回復した。この好奇により、三種の神器が登場。自粛した金魚の販売も徐々に活気を取り戻していった。朝一番に出ていくと昼には売り切れてしまうほどの売れ行きだった。「泳ぐ宝石」と言われた時代。(資料④)

資料④金魚のはなし

(著)吉田智子(社)洋泉社

(年)2013 年 7 月 24 日(p.89)→



1 章 ④まとめ・感想

【章の問い】金魚はどこからやってきた？…中国からやってきた！

→1700 年前の西暦 3～4 世紀頃

金魚のうまれは中国！長江のほとりで見つかった赤いフナが祖先にあたる。

→1502 年室町時代

日本へは、現在の大阪の堺市に入ってきたとされている。

→江戸中期頃

金魚が大量生産されることにより、少しずつ庶民にも広まっていった。

ここから、金魚すくいが成立していった。

【感想】

第1章で、金魚の生まれや伝わり方が分かった。長江で見つかった赤いフナから始まり、今ではお祭りにも、私にも欠かせない金魚が生まれて絶えずいることに感動した。そんな魅力的な金魚たちを見せ物とした展覧会も開かれているそうだ。先日、美しい金魚を見ようと、銀座でオープンされたアートアクアリウム ART AQUARIUM に行った。(写真⑦)

水槽の形も魅力的で、金魚がより美しく見だされていて、言葉にならないほど素敵なものであった。

金魚を売りにしている店はいくつもあるが、次は 6 ページに記したように、金魚すくいに視点を置いて調べてみよう。私の金魚の物語の始まりである金魚すくいはどう変化していったのか、使われている金魚には秘密があるのかを探っていきたい。



←写真⑦入り口でもらった
フォトコンテストの案内。

訪れた日：7 月 14 日



～第2章～
金魚すくいの
秘密を探る。

2 章 ①金魚すくいはいつから？

6ページ抜き出し

「1748年に金魚の飼育の手引書「金魚養玩草」が発行され、その一説に「金魚売り」「金魚すくい」という仕事や遊びが成立したそうだ。」

より、江戸時代中期以降に金魚すくいが生まれた。当時は今のようなポイは作るのには高価そうであるから、手で直接すくったり小さめの器で金魚をすくったりしたのではないか。

【すくい網を使って楽しんでいた】

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013年7月24日(p.78))

始まりは江戸時代中期頃で、後期から、金魚すくいをする子どもが浮世絵に描かれた。

→すくい網を使って遊んでいたそうだ。だが、誰が始めたといった詳細は不明。

(自分の考え)ポイというものは江戸時代にはやはりまだ存在しておらず、繰り返し使うことのできる網を使って楽しんでいたということだろう。ただ網で金魚を追いかけてすくって楽しむ。今のような面白味というものは少なさそうだし、自分にとって網は金魚を傷つけてしまう原因の一つであるため良いものではないと思う。因みに、私の2匹を別の水槽に移したりするときには、水ごとすくえるものを使っている。(写真⑧)



←写真⑧ 私が愛用している水ごとネット

(商品名)フィッシュネット 水ごとネット 株式会社キョーリン

では、いつから金魚すくいは網ではなく、今のような「ポイ」のような形になったのだろうか。今では、プラスチックでできた型に和紙をはめて作られている。場所によっては、もなかを使ったものもあるようだ。

【大正時代に登場！】

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013 年 7 月 24 日(p.78、92)

大正時代になると、「ポイ」が登場した。茶筒を型にして針金を巻き、ペンチで止めて枠を作り、これに和紙を貼って作られていた。この作業は金魚卸門屋が冬になるとやる仕事の一つだった。江戸時代には縁日などの祭り文化が盛んであり、その傾向は明治、大正、昭和初期まで続いた。戦前は東京都内でも約 600 もの縁日が催されていたそうだ。その中、金魚すくいは人気ナンバーワンを誇り、戦後は金魚すくいが盛んになった。昭和 30 年代は「もはや戦後ではない」と言われるほどに景気は回復し、日本人の心にも金魚を楽しむ余裕ができたそうだ。

～ここまで(自分の考え)～

戦争を乗り越え、金魚すくいによって今のように一般に広まっていった。

- | | | |
|------|---|---------------------------|
| 江戸時代 | → | 金魚すくいという遊びが生まれた |
| 大正時代 | → | ポイの誕生 |
| 昭和時代 | → | 戦争を乗り越え、縁日でなくてはならない存在になった |

私の金魚愛は金魚すくいによって始まったが、昔の人の金魚との関わりも金魚すくいによって広まっていったのだろう。金魚すくいの生まれがわかった。調べているうちに、新たな疑問が生まれた。ポイの種類や現在金魚すくいに使われている金魚、縁日ではたくさんの金魚がいなければ楽しめないはずなので、その金魚たちの生まれ、その後についてとても気になった。ま

ずは金魚すくいになくてはならない道具であるポイに視点を置いて調べていこう。どんな種類があるのか、すくい方のコツはあるのかを調べていこう。



←写真⑨

私の金魚愛の始まり。金魚すくい。新川さくら館にて期間限定で開かれる「あく和りうむ」内で行われる金魚すくい。

初挑戦をしたが、すくうことができずおまけの2匹をもらった帰りにて撮影。(一年前)

2 章 ②ポイの秘密・雑学

知りたくなったポイについて調べていこう。名前の由来、種類、金魚すくいのコツについて探っていこう。

((参考文献:(Web ページ名)意外と長い！金魚すくいの歴史とは？(作成者)葉室頼廣(Web サイト名)和のすてき

(最終更新日)2023 年 11 月 1 日(アクセス日)2024 年 8 月 7 日 <https://wanosuteki.jp/archives/22900>

【ポイの名前の由来】

「ポイ」の言われるようになった説は 2 つ。

① 金魚をポイポイスくうから。②破れたらポイっと捨てるから。

(自分の考え)

かなり単純な由来。名付けた、というよりもそう呼んでいたと思う。

【ポイの種類】

針金の枠からプラスチックの枠に変わっていったポイだが、現在も針金の時のように破れた紙を取り替えて再利用できるものとそのまま捨ててしまうものがある。

ポイには紙の厚さが 1 種類ではなく、4号～7号の4種類が存在していて、号数が大きくなるほど薄くなる。

〈4号:強〉 分厚く、どんな人でも簡単に取れる。幼児でも楽しめる。

〈5号:並〉 金魚すくい選手権で使用される。破けにくく、すくいやすい。

〈6号:弱〉 かなり破けやすく、大人でも難しい。

〈7号:弱弱〉 水につけると簡単に破ける。得意な人もかなり難しい。

→一般的な屋台では、5～6号を使っていることが多い。

【モナカのポイ】

食べるモナカに針金を2本通し、それで金魚をすくうものもある。針金からモナカが外れてしまったら終了。紙よりも耐久性が弱いので、すくうのが難しい。

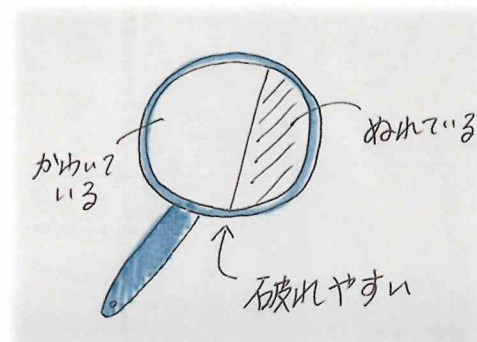
((参考文献:(Web ページ名)金魚すくいのコツ(作成者)非表示(Web サイト名)#ナレキン

(最終更新日)2023 年 11 月 1 日(アクセス日)2024 年 8 月 7 日 <https://narekin.jp/kingyosukui/>

【すくい方のコツ】

① ポイの裏と表を確認する(使い捨てタイプ)

→水につける前に確認する。紙が貼ってある方が表。裏は破れやすい。



② まずはポイの前面に水をつける

→一度前面を濡らした方が破れにくくなる。ポイの少しの部分のみですくう人もいるが、この場合濡れている部分と濡れていない部分の境目が破れやすくなる。

③ ポイを斜めにして水にいれる

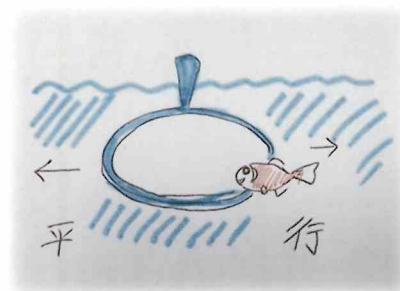
→紙の面になるべく水の力が加わらないようにする。ポイを水に出し入れするときに斜めにする。金魚を紙の上にのせても慌てず、紙の上に水が残らないよう、ゆっくり斜めに引き上げる。

④ 水の中ではなるべく平行移動

→水の力を減らすため。なるべく水面と平行に動かす。

⑤ 金魚を追いかけない

→金魚を脅かさないよう、なるべく自然に接することが大切。



⑥ 金魚の上半身をのせる

→尻尾からではなく、頭の方から迎えに行く。尻尾を紙の上に載せてしまうと、紙が破れてしまうことがあるため。

(自分の考え) 強度があることは知っていたが、こんなにも種類があるとは知らなかった。去年金魚すくいをした時も、何も知らなかったためすぐ破れてしまったのだと思う。こうしてみると、金魚は遊ぶものとしての扱いをされているので、飼うことまで考えてから楽しむことが大切になってくると思う。

2 章 ③定番の「和金」とは(1)

金魚すくいでよく使われる金魚は「和金」である。和金の他には出目金なども泳いでいる。まずは和金の特徴から調べてみよう。

((参考文献:小学館の図鑑 NEO POCKET

(著)松沢陽士(社)小学館(年)2023 年 4 月 3 日(p.22)

フナに似た金魚で、尾ビレは四つ尾(まれに三つ尾や桜尾)とフナ尾のものがいる。(資料⑤) →

((参考文献:(Web ページ名)金魚すくいで救える金魚の種類!小赤・琉金などよく見る種類を紹介!(作成者)株式会社 東京アクアガーデン(Web サイト名)AQUA GARDEN

(最終更新日)2024 年 6 月 6 日

(アクセス日)2024 年 8 月 8 日



https://taquagarden.com/column/goldfish_scooping_type

よく金魚すくいで見る方はフナ尾の個体で、和金の稚魚の小赤という、赤い体に、フナ型のスリムな体型をしている。泳ぎが素早い、体が細めで軽い、ためすくいやすく、金魚すくいにぴったり。

(自分の考え) 和金は手に入りやすく、上に記した通り「泳ぎが素早い、体が細めで軽い」から金魚すくいに適した金魚なのだと思う。一方、出目金や琉金などは比較的泳ぎは遅いが、重さもあり、小赤に比べると少し価値が高い。金魚すくいはたくさん金魚が泳ぐからこそ楽しめる遊びだと思うため、小赤が最も適しているのではないかな。

少し和金について知りたくなった。「和」とつくからやはり日本で誕生していそうだが、第1章より、中国発祥、中国で変化を遂げたのだから、本当は日本生まれではないのかもしれない。フナに近い金魚「和金」についてももう少し探ろう。

2 章 ④定番の「和金」とは(2)

和金は歴史の長い種類の金魚。やはり、日本原産種類ではなく中国から来た。

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013 年 7 月 24 日(p.22))

【和金の名前の由来】

(2ページ、5ページと似た内容)約 1700 年前に中国では発見された「ヒブナ」が改良されたものと言われている。(ヒブナ=赤いフナ)始めは中国で呼ばれていた「チンユイ(金魚)」の日本よみで「コガネウオ」「キンギョ」を呼んでいた。

→室町時代から金魚を中国より輸入していたが、江戸時代になって新しく輸入させてきた品種と区別するために「和金」と呼ぶようになったそうだ。

和金とひと言でいっても、色や柄によって名前が異なる。

- 朱色の部分がない白い体…白和金 今はとても珍しい
- ベースは白、赤と黒がまだらに入ったもの…3色和金
- 体が透けて桜色になる…桜和金 など。

金魚すくいに使われる和金は「小赤」

→ひとまわり大きくなると「姉金」と呼ばれる。(区分の呼称のため品種ではない)

生まれたばかりの当歳から赤くなれば金魚すくいに使われる。

(自分の考え)つまり、日本で生まれたから「和」とつけたのではなく、区別するためにつけた別の名前である。元々ただ「コガネウオ」「キンギョ」というよりも和金と名付けにより、今よりも種類は増えていったし、愛着も湧いていったのではないか。

一度金魚すくいの視点に戻そう。13 ページにも記したように、金魚すくいにはたくさん金魚が泳ぐからこそ楽しめる遊びなのだと思う。次は、道具でも歴史でもなく、金魚すくいの金魚の始まり、そして終わりについて調べよう。どこで生まれた金魚がどのようにして過ごし、どのように終わるのか。余ってしまった金魚たちの真実を追っていこうと思う。

2章 ⑤すくわれ金魚の運命

金魚だって生きている。私たちは肉や魚などの命をいただいているためキリがないが、今回は金魚すくいの「すくわれ金魚」の運命を追っていこうと思う。まずは金魚の生まれ方から調べていこう。

((参考文献:小学館の図鑑 NEO POCKET(著)松沢陽士(社)小学館(年)2023年4月3日(p.20、21、52))

【卵から100日後までの金魚の様子】(写真は参考文献の物をそのまま引用)



① 生まれて1日目

卵の表面は粘着性があり
水草にくっつく



② 生まれて4日目

間もなく孵化する



③ 孵化して間もない仔魚

まだ泳げない



④ 孵化3日後ほど

泳ぎ始め餌を食べるようになる



⑤ 孵化後30日

体高が高くなり
尾ビレも左右に分かれる



⑥ 孵化後40日

さらに体高が大きくなる、鱗におおわれてくる



⑦ 孵化後40日

退色が始まり赤くなる



⑧ 孵化後100日

退色が終わり親と同じ色になる

金魚は養魚場で人の手によって育てられている。金魚は一回の産卵で500～5000個の卵を産む。たくさんの金魚が人によってすぐに育つ。

金魚の生まれは養魚場、ではどのように屋台へ向かうのだろうか。
金魚すくいを開く人向けのサイトがあったので見てみよう。

((参考文献:(Web ページ名)金魚が届いたら(作成者)金魚すくい用品のやまと錦魚園

(Web サイト名)やまと錦魚園(最終更新日)2023 年 11 月 28 日(アクセス日)2024 年 8 月 10 日

https://kingyoen.net/fish_scooping/goldfish_arrived

【金魚の仕入れ方法】

様々な Web ページを見るかぎり、ほとんどが通信販売による仕入れ方法だった。

袋に水を詰めた状態で金魚を届けるそうだ。(資料⑥) ↓ (参考文献より引用)

届いたら、温度調節等をしてプールに入れて準備をする
そうだ。

(自分の考え)金魚にとって、とても長い時間狭いところ
でいることから、琉金や出目金と比べて強めな和金が
多いのかもしれない。

金魚は箱詰めでやってくる。その後大きなストレスも加
わるため死んでしまう確率が高いとされているが、正し
い処置を行うことで、救える命がある。屋台なので、楽し
むことが 1 番とされているが、同じ命を持つものとして
考えるのであれば、すくった金魚はすぐに持ち帰り、塩水浴等をさせてあげるべきだ。(⑥すく
った金魚も長生きできる！)



到着した箱を開けたときの様子

~~~~~  
仕入れの方法がわかった。おまけをしても、残ってしまう金魚はいるはずだ。その金魚た  
ちはどうになってしまうのか調べてみよう。

((参考文献:(Web ページ名)金魚すくいであまった金魚はどうなるの?(作成者)せいじ

(Web サイト名)きんぎよりうむ(最終更新日)2021 年 4 月 20 日(アクセス日)2024 年 8 月 10 日

<https://happy-life.happy-act.net/surplus-goldfish#st-toc-h-1>

## 【すくわれなかった金魚の行く道】

- ① お客さんに無料で配る
- ② 小学校などに寄付する
- ③ 熱帯魚用の餌として売る
- ④ 金魚すくいの屋台の仲間に譲る
- ⑤ 生態系の影響が無い池に放流する
- ⑥ 川に放流する
- ⑦ 下水に流す

などの形が取られているようだ。

だが、販売店に引き取ってもらうことはできない。

↓

再び金魚を運搬したりすることで売り上げが減ってしまうため、そのお祭り限りでお役御免となる。

また、病気になってしまい死んでしまうから。

### ① お客さんに無料で配る

お客さんにとっては嬉しい、金魚にとっても優しい方法。

### ② 小学校などに寄付する

学校で飼育、観察ができるためありがたい。だが、運搬のコストがかからないお祭り周辺の学校に限られ、寄付できる数にも限界がある。

### ③ 熱帯魚用の餌として売る

金魚すくいでよく使われる小赤は熱帯魚の餌として用いられる。だが、金魚すくい用の金魚として何度も運ばれているため、病気を持っているリスクが高い。

### ④ 金魚すくいの屋台仲間に譲る

直近に近くでお祭りがあればそこに店を出す屋台に金魚を譲る場合もある。だが、タイミングが合わないとき難しい方法。むしろ、近所でお祭りをするケースはそれほど無いのでいつでも取れる手段ではない。

### ⑤ 生態系の影響が無い池に放流する

この環境であれば、人工池の中だけで金魚が生息することになるため、自然の生態系に影響を及ぼすことがない。だが増え続ける。

### ⑥ 川に放流する

残念ながら、多くの業者が取っているとされている方法。自然の生態系に影響を及ぼす可能性がある。他の生き物の餌を金魚が取り、自然に暮らしていた生き物が生きていけなくなる可能性がある。

## ⑦ 下水に流す

金魚が絶対に生きられない下水に流すことで処分をする方法。金魚が苦しみながら死ぬことになる最悪の選択肢。

(自分の考え)私は、余った金魚たちは元のお店、養魚場に戻ると思っていたが、実際は売り上げや金魚の状態から、できない方法であることを知りとても驚いた。①②の金魚にとっては大切に育てられる道、③の食べられる道、④もう一度苦しむ道、⑤⑥自由の道(生きられるかどうかは分からない)、⑦確実に死ぬ道があると分かった。①の方法が1番好ましいと考えるが、金魚すくいをしてただけで飼うつもりのない人もいるため、川あるいは下水道の道を進むことが多いのかもしれない。金魚にとってはとても大変な道をきているため、すくったら大切にしたいと思う。余ってしまうのは仕方ないことなのかもしれないが、命を粗末にする⑦の選択肢はあってはならないものだと思う。金魚飼育者としては③の選択肢は悲しいが、元気な状態であれば生態系の影響はないと思うし、じわじわと苦しんで死ぬよりは良いと思う。金魚すくい自体を廃止するにしても、金魚が庶民に広まったおおきな源でもあるため、私としてはこれからも続いてほしいと思う。

それでも金魚を苦しめるわけにはいかない！

次は、金魚すくいをして持ち帰った後どうすれば良いか、ここで発信できたらいいなと思ったので、まとめることにしよう。

### ～健康金魚～

- 活発に泳いでいる
- ヒレの動きが良い  
(背ヒレはすぐ見分けがつく)
- 長すぎず、色のついたフン
- 体に厚みがある など





## 2 章 ⑥すくった金魚も長生きできる！

ここで、金魚すくいをした後どうすれば良いかをまとめ、金魚と楽しく過ごせるように、苦しむ金魚が少しでも減ってくれば良いと思う。

((参考文献:小学館の図鑑 NEO POCKET(著)松沢陽士(社)小学館(年)2023 年 4 月 3 日(p.159)

【すくったら】屋台で入れてもらった袋は小さく水質が悪くなりやすい。また、溶け込んでいる酸素が少ないためなるべく早く持ち帰ること！袋が揺れないようにそっと持ち帰る。

【塩水浴をさせる】金魚の体調を整えたり、体についている病原菌などを除いたりする。

- |              |                                                                                                                                                      |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 塩の用意       | 塩水浴には0.5%の塩水を使う。(水約1Lに塩5グラムの割合)<br>数匹なら、10リットルぐらいのバケツでおこなうとやりやすい。<br>△濾過装置を使わない、加工塩は使わない                                                             |
| ② 新しい水にならす   | 持ち帰った袋のまま水槽に浮かべ、30分程おいて水の温度を合わせたら、袋を開けて放す。⚠️ 少しずつ塩を入れていく                                                                                             |
| ③ 3日間は餌をあげない | 3日間はストレスを和らげ体調を整える期間のため、毎日そつと様子を観察する。フンやゴミがあったらスポイトなどで取り除く。                                                                                          |
| ④ 2週間続ける     | 4日目に餌をあげて、飛びついて食べればok。少なめの量を毎日与える。すぐに食べないようなら、食べるようになるまで絶食を続行。水が汚れれば、同じ濃度の水を用意し、水温を合わせてから金魚だけを別に移すか、★古い水を抜いて新しい水を入れる。(2～3日程のペースで水を換えると、水質悪化による死を防げる) |
| ⑤ 金魚を水槽にいれる  | 水温を合わせた水を④の★と同じように少しずつ薄める。                                                                                                                           |

(自分の考え)少し面倒だと思う人もいるだろう。だが、すくって出会えたのは運命だと感じ、責任を持って育ててほしいと思う。金魚も命があることを忘れないでほしい。

## 2 章 ⑦まとめ・感想

【章の問い】金魚すくいの歴史を探る

- ① 金魚すくいはいつから？  
→江戸時代から始まった。今のような金魚をすくう「ポイ」は大正時代から作られた。
- ② ポイの秘密・雑学  
→種類がたくさんあり、紙のほかも中で作られたものもある。
- ③ ④ 定番の「和金」とは  
→泳ぎが素早く、稚魚は「小赤」と呼ばれる。中国から来た金魚を、他の種類と比べるために付けられた名前。
- ⑤ すくわれ金魚の運命  
→金魚すくいの金魚はほとんどが通信販売によって仕入れている。すくわれなかった金魚たちは、配られたり捨てられたりなどの道がある。
- ⑥ すくった金魚も長生きできる！  
→塩水浴によって金魚を休ませ、元気にさせることができる。

【感想】

第2章で、金魚すくいについての歴史、ポイや金魚についてより深く知ることができた。確かに金魚すくいは、金魚を苦しめていることにはなるが、金魚すくいが始まらなければ、今のように金魚は広まっていなかっただろうし、私も調べることはなかっただろう。昔から金魚を守り続けてきた人たちの思いも含まれている金魚すくいは、歴史を感じられる日本の文化にふさわしいと思う。金魚すくいを伝え続けるためには、すくったら責任を持ち、最後まで育てることが大切になっていくと思う。

次は、私の住む街江戸川区と金魚の関係について調べ、地域愛も共に深められたらいいと思う。



## ～第3章～

江戸川区が金魚で  
有名なのはなぜ？



### 3章 ①家周辺の金魚

いよいよ、私の街江戸川区と金魚の歴史について探る。  
私が住む江戸川区は、金魚に関するものや場所、祭りなどが多くある。



新川さくら館周辺に飾られる  
金魚ちょうちん  
7月11日～8月18日まで  
飾られる。  
夜はライトアップされる。  
(今年)(自分撮影)



金魚公園(自分撮影)  
134-0003  
東京都江戸川区春江町5丁目  
26-10  
(堀口養魚場の一部)



毎年行船公園にて開催される金魚まつり  
右は江戸川区のキャラクターのひとりえど金  
ちゃん  
7月20日、7月21日に開催された金魚  
まつりにて撮影。(自分)



このほかにも、たくさんの金魚に関するものが  
江戸川区にはある。まずは、いつから有名にな  
ったのか調べよう。(養殖が盛んになった頃な  
ど)

## 3章 ②いつから有名に？

((参考文献:江戸川区と金魚(著)(社)江戸川区郷土資料室(年)1992年11月7日(p.10~)

【始まりは震災後から】

江戸川区の金魚養殖の多くは本所・深川あるいは砂町・大島・亀戸あたりから移ってきたものと伝えられ、明治の末期ごろからみられるようになり、1923年(大正12年)の震災以降盛んになった。戦争で一時中断し、再開後も台風の打撃を受けたが、輸出の再開などにより次第に活況をすすめた。

((参考文献:金魚のはなし(著)吉田智子(社)洋泉社(年)2013年7月24日(p.100)

【なぜ江戸川区に移ってきたのか】

金魚に適した水が豊富であったから。

→いい金魚を育てるための絶対条件！

日本の金魚の三大産地と言われるのは、「奈良県大和郡山市」「愛知県弥富市」「東京都江戸川区」の3つ！つまり、江戸川区は日本有数の金魚養殖産地として、有名。



←21 ページに記した、金魚公園にある説明看板。

(こちらも参考)

(自分の考え)確かに、江戸川区には川もたくさん流れ、金魚の餌となるミジンコも豊富だろう。戦争で一時中断し、とあることから、その間の養魚場に関することが気になった。第1章で、戦争から金魚を守り抜いていたことはわかったが、詳しいことは調べきれていないので、養魚場の歴史(江戸川区の金魚)について探っていくとする。



## 3章 ③養魚場の歴史を探る

一覧にまとめながら、考えていこう。

((参考文献:江戸川区と金魚(著)(社)江戸川区郷土資料室(年)1992年11月7日(p.10~)

(↓資料より、まとめたもの)

|                   |                                                                                                                                    |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 明治 30 年代          | 平井に 6 軒、小松川に 1 軒の養魚場が移転したのが始まり。                                                                                                    |
| 関東大震災後            | 地価が安く、水質良好な江戸川区へ業者が集まり盛んになる。                                                                                                       |
| 第二次世界大戦           | 国家非常時としてぜいたくが排除される。<br>飼料不足や養殖池の耕地等への転用、主として食用鯉の種苗生産を行うなど、金魚はわずかに絶滅を防ぐ程度の状態。                                                       |
| 敗戦の混乱が安定に向かうにつれて… | 金魚の飼育も盛んになった。(第 2 章に記した金魚すくいなど)<br>飛行機による輸出も行われ、外貨獲得にも貢献。<br>江戸川区中南部の大規模な養殖家の復活、旧市街や敗戦直後に都市化の進んだ地域ではほとんどの業者が卸専門となった。<br>→全国有数の金魚産地 |
| 1954 年 調査         | 東京の業者は 31 軒中、3 分の 2 が江戸川区となる。                                                                                                      |
| 昭和 30 年代          | 江戸川区の都市化が急速に進んだ。<br>→水質悪化、固定資産税の上昇などにより池面積・業者数ともに減少。                                                                               |
| 1965 年            | 第 1 回全日本金魚品評会で堀内養魚場の江戸川リュウキン(3 章④)が農林大臣賞受賞。                                                                                        |
| 1972 年            | 江戸川区の養殖業者が 17 軒。                                                                                                                   |
| //                | 金魚まつり(3 章⑤)が始まる。                                                                                                                   |
| 1979 年            | 江戸川区の養殖業者が 6 軒に。                                                                                                                   |
| 1992 年            | 江戸川区の養殖業者は、養殖池を他県に移した 1 軒を含む、計 3 軒となる。                                                                                             |
| 現在                | 堀口養魚場、佐々木養魚場の 2 軒となったが、品質は日本のトップクラス。                                                                                               |

大きく分けてみると、このようになる。

戦争を乗り越えたり、都市化によって環境が悪化したりしても、守り続けられてきたことが資料より分かった。その中で、より詳しく知りたいと思った江戸川リュウキンと金魚まつりについて調べよう。



## 3章 ④江戸川区生まれの金魚とは？

3章③の続き。

((参考文献:(Web ページ名)揺らぐ赤い影 金魚の養魚場(東京・江戸川)(作成者)日本経済新聞

↓(Web サイト名)日本経済新聞(最終更新日)2018 年7月 21 日(アクセス日)2024 年 8 月 12 日



琉金…体が丸みを帯び、腹がふくよか。高く盛り上がった背はキャメルバックと呼ばれ、琉金の特徴の一つ。

江戸川リュウキンは、形や色が良いとされ、ブランド化したもの。堀内養魚場の 4 代目、故堀口篤次氏が作るリュウキンが作るリュウキンはとりわけ質がよく、「堀口リュウキン」と呼ばれて愛好家の人気を集めた。

(自分の考え)江戸川区は金魚で有名だが、新たな品種を生み出していることなどは知らなかった。この前の金魚まつりの時は知らず、江戸川リュウキンを目にしていなかったなので、機会があれば見に行きたい。私の 2 匹(りんごとみかん)は形が似ているが、玉サバといい、よく知られているリュウキンのように尾ビレはヒラヒラしておらず、和金と似ていて泳ぎが早い。

## 3章 ⑤金魚まつりについて

江戸川区の金魚まつりはニュースで取り上げられるなど、江戸川区の中でも名が知られているまつりだ。3章③の表より、金魚まつりは、1972年に始まった。そんな金魚まつりの始まった理由、行われていることについて調べよう。

((参考文献:(Web ページ名)金魚まつり(作成者)東京都産業労働局

(Web サイト名)TOKYO イチオシナビ(最終更新日)(アクセス日)2024 年 8 月 13 日

[https://www.chiikishigen.metro.tokyo.lg.jp/introduction/details/introduction\\_68.html](https://www.chiikishigen.metro.tokyo.lg.jp/introduction/details/introduction_68.html)

【場所】江戸川区北葛西・行船公園 〒134-0081 東京都江戸川区北葛西 2 丁目 20

【始まった理由・例年の開催日】

江戸川区の特産品である金魚の魅力を広く伝えることを目的に始まった。

→地域の振興、文化の継承を図る目的

例年 7 月、二日間にわたって開催される。50 年以上続いているまつり！

(自分の考え)第3章③で、金魚まつりが始まった 1972 年は、江戸川区の養殖業者数が 17 軒になってしまった年でもある。歴史を見るに、江戸川区は金魚の歴史が長いため、もう少し前から始まっていたと思っていたが、地域おこしの形で始まっていたことに驚いた。金魚まつりには、江戸川区外からも訪れている人がいるため、金魚を広めること、そして文化は伝承され続けられているのだと思う。

## 3章 ⑥江戸川区の金魚まつりです！

第2章の金魚すくい話に続き、金魚まつりについてここで発信し、より多くの人に江戸川区の金魚の魅力について知ってほしいと思う。

((参考文献:(Web ページ名)金魚まつり(作成者)東京都産業労働局

(Web サイト名)TOKYO イチオシナビ(最終更新日)(アクセス日)2024 年 8 月 13 日

[https://www.chiikishigen.metro.tokyo.lg.jp/introduction/details/introduction\\_68.html](https://www.chiikishigen.metro.tokyo.lg.jp/introduction/details/introduction_68.html)

((参考文献:(Web ページ名)第 53 回金魚まつりのお知らせ&佐々木養魚場一之江店舗にて土曜日限定セール開催します！

(作成者)佐々木養魚場(Web サイト名)金魚やぶろぐ by 佐々木養魚場

(最終更新日)2024 年 7 月 19 日(アクセス日)2024 年 8 月 13 日

<https://ameblo.jp/sasaki-kingyo/entry-12860383142.html>

### 【金魚まつりのみどころ紹介！】

- 様々な品種の金魚の展示
- 金魚の即売
- 1 匹あたり数万円する高級金魚を目にすることができる
- 金魚の飼育相談会が開れる
- 水生動物やメダカの販売コーナー
- 飼育器具、えさなどの販売コーナー(安い)
- 江戸川区の特産品である小松菜などの野菜の販売コーナー
- 「江戸風鈴」「つりしのぶ」「江戸切子」などの実演、販売コーナー
- 江戸川区の金魚を全国に PR するためのキャラクター「えど金ちゃん」のイラストが随所に見られる、写真を撮れる(21 ページに写真)



2024 年のポスター(資料⑦)

など、たくさん見所があります！

金魚の風船や、手作りされた可愛いキーホルダーやアクセサリも売られていて、金魚が飼えない人も楽しむことができます。もちろん、屋台なども並んでます。

### 【金魚まつりはやっぱり金魚すくい！】

金魚まつりでは、よくあるお祭りの金魚すくいのようなものもありますが、すくえた数で競う「チャレンジ・ザ・金魚すくい」と一般的な和金ではなく、ランチュウ・オランダシシガシラ・東錦・丹頂などがすくえる「高級金魚すくい」があります！



○金魚すくい…誰でもできる金魚すくい。中学生以下無料！高校生以上は一回 100 円  
(大人気のため、とても並びます！)

○チャレンジ・ザ・金魚すくい…小学生以下の子どもを対象とした金魚すくい大会！  
受付を済ませ、参加ができる。(先着 40 名！)上位 3 位の入賞者には表彰式にて、賞状・メダル・金魚グッズがプレゼントされます。

○高級金魚すくい…一人 1 回 500 円(整理券が必要)  
一人 1 回限り、一人 3 匹まで！金魚まつり 2 日間で限定  
500 匹！

((右上写真資料:(Web ページ名)第 53 回金魚まつりのお知らせ&佐々木養魚場一之江店舗にて土曜日限定セール開催します！(作成者)佐々木養魚場  
(Web サイト名)金魚やぶろぐ by 佐々木養魚場(最終更新日)2024 年 7 月  
19 日(アクセス日)2024 年 8 月 13 日  
<https://ameblo.jp/sasaki-kingyo/entry-12860383142.html>

金魚まつりが開催される行船公園は入場無料で見られる  
自然動物園も敷地内にあり、「ペンギン」「レッサーパンダ」  
「オオアリクイ」「コウノトリ」「リスザル」などがいます！  
これをきっかけに金魚まつりで金魚の魅力を知ってもらえ  
たら嬉しいです。新たに迎え入れる子(金魚)がいましたら、19 ページを参考にぜひ長く可愛  
がってあげてください！



## 3章 ⑦まとめ・感想

【章の問い】江戸川区が金魚で有名なのはなぜ？…金魚に適した水が豊富であり、良い金魚が育つ絶対条件が揃っていたから。

戦争を乗り越え、段々と都市化が進んでいった江戸川区の養魚場は年を経るにつれて減っていき、現在は2軒しか残っていない。だが、品質は今でも日本トップクラスである。そんな金魚を広め、守っていくために金魚まつりが始まった。50年以上愛され続け、今では他の区からも訪れる人がいる。

### 【感想】

金魚が有名であることは知っていたものの、なぜ有名であるのかなどの歴史は知らなかった。金魚まつりも、行ったことはあるものの思った以上の催し物があり、まつり前に知っておきたかったなと少し後悔した。江戸川区に住んでいなければ、今の2匹(りんご・みかん)に出会っていなかっただろうし、調べようとしなかっただろう。江戸川区以外に金魚が有名な「奈良県大和郡山市」「愛知県弥富市」にもいずれ足を運び、江戸川区の金魚との違いを比べてみたいと思う。

~~~~~

この空欄使って調べてみた！
【金魚ちょうちん生まれは？】

上:8月3日新川さくら館前の桜橋にて撮影(自分)

下:7月23日新川さくら館にて撮影(自分)



((参考文献:(Web ページ名)金魚ちょうちんの由来
(作成者)柳井市商工観光課(Web サイト名)山口県柳井市
(最終更新日)2012年3月23日(アクセス日)2024年8月15日
<https://www.city-yanai.jp/site/kanko/kingyochochin-yurai.html>



【生まれは山口県】

幕末の頃、今からおおよそ150年の昔、柳生の商人が子供のために金魚を型取り、伝統織物「柳生縞」の染料を用いて創始したと言われている。夏祭りを迎えると、子供たちは浴衣を着て金魚ちょうちんに人ともし、町へと出かけていたそうです。

全体を通して

【調べた感想】

第一に、とても楽しかった。私は金魚が好きになってから一年経つが、金魚の生まれや金魚すくいなどの歴史、生まれてからずっと住んでいる江戸川区について、知らないことが沢山あり、少しずつ深めていくことで、より金魚のことを好きになれたと思う。調べるにあたり、今まで手にしたことがないような資料の中から適した内容を読み取ったり、引用したことを記すために書く情報を控えたりすることはとても苦労した。だが、難しそうな資料から自分が知りたかったことや知らなかったこと、興味があることを見つけた時の嬉しさがあり、初めてここまでまとめることができた。調べるきっかけとなった一つが、金魚すくいによって「金魚たちには苦しい思いをさせたくない！」と思ったことだが、歴史から調べていくことによって、金魚すくいこそが庶民に金魚を広めていった一つであり、金魚すくいがなければ今ほどにまでは身近な存在ではなかったのかもしれないと分かった。毎年夏に多くの屋台で行われる金魚すくいによって、たくさんの家庭へ金魚が広がる。だが、金魚は余ることにより、命を捨てるような選択をされることもある。帰ることのできない、道を失ってしまった金魚たちは放流されたりしてしまうが、すくわれた金魚は大切に育てていくことが大切だという考えにたどり着いた。金魚も生きていて、出会えたのも奇跡。長い歴史を持つ金魚すくいはこれからも続いてほしいと私は考えを改め、金魚すくいの金魚を長生きさせるための方法もここで発信していけたらいいと思う。また、私の住む江戸川区の金魚たちに少しでも興味を持ち、金魚まつりに足を運び、江戸川区についても沢山の人の人に知ってほしいと思う。

最後に、今飼っている 2 匹、「りんご」と「みかん」に、私の金魚愛を深め、調べるきっかけにしてくれたことに感謝をしたい。出会ってからもうすぐ一年を迎える。出会えたことの奇跡を感じながら、これからも大切にしたいと思う。

【呼びかけ】

金魚すくいやアクアリウムショップ等で出会った子は、最後まで大切に大切に育てていってあげてください！命を買った責任を持って、可愛がってあげてください！金魚たちは何も悪くありません。元気であるにもかかわらず、命を捨てる選択は絶対しないでください。金魚は人に懐きます。正しい飼い方をしっかり理解した上で、一緒に長く過ごしてあげてください！

参考文献

参考文献	著者名・編集者	出版社名	出版年	ページ	図書館名 請求番号
江戸創業金魚御門屋の 金魚のはなし	吉田智子	洋泉社	2013 7/24	10～13 22、58 60～63 72、78 88～89 92 172～173	小松川図書館 666.9 ヨ
小学館の図鑑 NEO POCKET 金魚	松沢陽士	小学館	2023 4/3	20～21 42 52 82 148	葛西図書館 KR 666.9 マ
金魚と日本人	鈴木克美	講談社	2019 8/8	30～31 172～173	松江図書館 B 666.9 ス
例解学習国語辞典 第九版ドラえもん編	金田一京助	小学館	2012 11/3	932	(家の辞書)
江戸川区と金魚	江戸川区郷土資 料室	江戸川区郷土 資料室	1992 11/7	10～13	小松川図書館 K1 66

参考文献(インターネット)

Web ページ名	Web ページを作 成した人団体名	Web サイト名	更新年月 日	URL	アクセス 年月日
フナの特徴	Honda 倶楽部	Honda	2024 4/01	https://www.honda.co.jp/fishing/picture-book/funa/#	2024 7/25
淀屋辰五郎	kotobank	コトバンク	2024 6/17	https://kotobank.jp/word/淀屋辰五郎-146356	2024 7/25

意外と長い！金魚すくいの歴史とは？	葉室 頼廣	和のすてき	2023 11/01	https://wanosuteki.jp/archives/22900	2024 8/7
金魚すくいのコツ	非表示	#ナレキン	2023 11/01	https://narekin.jp/kingyosukui/	2024 8/7
金魚すくいで救える金魚の種類！小赤・琉金などよく見る種類を紹介！	株式会社 東京アクアガーデン	AQUA GARDEN	2024 6/6	https://t-aquagarden.com/column/goldfish_scooping_	2024 8/8
金魚が届いたら	金魚すくい用品のやまと錦魚園	やまと錦魚園	2023 11/28	https://kingyoen.net/fish_scooping/goldfish_arrived	2024 8/10
金魚すくいで余った金魚はどうなるの？	せいじ	きんぎょりうむ	2021 4/20	https://happy-life.happy-act.net/surplus-goldfish#st-toc-h-1	2024 8/10
揺らぐ赤い影 金魚の養魚場(東京・江戸川)	日本経済新聞	日本経済新聞	2018 7/21	https://www.nikkei.com/article/DGXMZ033256790R20C18A7C00000/	2024 8/12
金魚まつり	東京都産業労働局	TOKYO イチオシナビ	2018	https://www.chiikishigen.metro.tokyo.lg.jp/introduction/details/introduction_68.html	2024 8/13
第 53 回金魚まつりのお知らせ& 佐々木養魚場一之江店舗にて土曜日限定セール開催します！	佐々木養魚場	金魚やぶろぐ by 佐々木養魚場	2024 7/19	https://ameblo.jp/sasaki-kingyo/entry-12860383142.html	2024 8/13
金魚ちょうちんの由来	柳井市商工観光課	山口県柳井市	2012 3/23	https://www.city-yanai.jp/site/kanko/kingyochochin-yurai.html	2024 8/15



